

# Co-G.E.I.チャレンジ 2023

「学部生・大学院生による自律的な企画・研究活動」募集のお知らせ

## 工芸大100周年を盛り上げるアイデア求む！

“若さあふれる学生ならではの思いもよらない斬新なアイデアを提案して研究支援金（最大50万円）を獲得しよう！”



主催：東京工芸大学

オンライン申請期限：2023年5月30日（火）16時（厳守）

オンライン提出先：er-support@office.t-kougei.ac.jp（教育研究支援課 宛）

- ・斬新なアイデアを思いついたので応募したい
- ・申請書類の具体的な書き方がわからない
- ・支援責任者の先生が見つからない

・・・などありましたら、教育研究支援課までご連絡ください

教育研究支援課 e-mail:er-support@office.t-kougei.ac.jp

厚木キャンパス tel:046-242-9964（直）／中野キャンパス tel:03-5371-2671（代）

# 「Co-G.E.I.チャレンジ 2023」とは？

今年度も「Co-G.E.I.チャレンジ 2023」を実施します。

この「Co-G.E.I.チャレンジ」とは、「Cooperative Good Educational Innovation」(協同して取り組む、優れた教育的革新)の頭文字をつなげた造語で、今年で18回目の実施となります。学生のみなさんから提出された応募書類をもとに、学長を委員長とした審査会で書面審査を行い、支援する研究活動を決定します。

専任教員(1名以上)を指導(支援)責任者とし、複数の学生(大学院生含む)が共に参画して実施する学生の自主的・自発的・自立的な企画・研究活動とします。

**今年2023年に100周年を迎える本学をより盛り上げるような、若さあふれる学生ならではの思いのよらない斬新なアイデアを公募します。**

ただし、すでに実施しているサークルや同好会での活動は除きます。

※複数の学部・学科・コースの学生が参加する企画・研究活動を歓迎します。

※応募があった場合でも、審査評価点が著しく低い場合には、採択なしとする場合があります。

## 1. 研究支援について

審査の結果、採択された活動には、1件につき50万円を上限として、大学から活動費用の支援を行います。

※応募があった場合でも、前提条件に該当する研究がなかった場合や審査評価点が著しく低い場合には、採択なしとする場合があります。

## 2. 対象となる活動について

応募の対象となる研究活動は、次の条件を満たすものです。

- 1) 工学部・芸術学部の特色を生かした活動で、異なる学部・学科・コース(院生含む)の複数の学生が参加していること  
ただし、「Co-G.E.I.チャレンジ」の趣旨・目的に沿った研究課題で、応募時点において異なる学部・学科・コース(院生含む)の複数の学生による参加の実態が無い場合でも、将来的な参加への発展が見込める研究は応募を可能とします。
- 2) 学生のみなさんが自主的に行う研究活動であること
- 3) 本学の専任教員(1名以上)を指導(支援)責任者とする事
- 4) 2024年2月末日までに行う研究活動であること

### <留意点>

- ①研究活動が採択された場合、指導(支援)責任者を通じて予算執行を行います。
- ②活動の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、打ち合わせ・イベント等できるだけ健康と安全に気をつけて実施するよう、じゅうぶん注意

してください。

- ③研究終了後1ヶ月以内に成果をとりまとめた報告書(所定の様式:A4 4枚程度)及び活動を紹介する動画(5分以内)を提出ください。

報告書及び動画は大学ホームページで公開する予定です。また、大学100周年記念イベント等での成果公開や報告への参加を要請する場合があります。

- ④東京工芸大学後援会「学生作品発表活動奨励費」「学生と教員との共同活動等への教育・研究助成費」等、大学、後援会及び同窓会が支給する他の補助金への重複申請はできませんので、ご注意ください。

(参考)東京工芸大学「工・芸共同研究」規程

(目的)

第1条 この規程は、東京工芸大学(以下「本学」という。)の専任教育職員(学生含む)が、本学内の者と共同して行う特色ある研究(以下「共同研究」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規程において共同研究とは、特定の研究課題について学部間等において複数の者が共同で行う研究をいう。

### 3. 申請手続きについて

別添の申請書類に必要事項を記入し、エクセル形式の書類及びPDF化した書類を教育研究支援課のメールアドレスに締め切り日時までに提出してください(共同研究責任者欄は、学部生又は大学院生の代表者の氏名等を記載してください)。

申請する際、メールの件名は「Co-G.E.I.チャレンジ応募」とし、メール文中に共同研究責任者の学籍番号及び氏名を記載し、書類を添付してください。

教育研究支援課 e-mail : [er-support@office.t-kougei.ac.jp](mailto:er-support@office.t-kougei.ac.jp)

提出後、6月1日(木)までに受領確認の返信がない場合は、教育研究支援課にメールにて照会してください。

### 4. オンライン申請期限について

2023年5月30日(火)16時(厳守)

### 5. 審査方法について

学長を委員長とした審査会で申請書類に基づく書面審査を行います。

書面審査は下記の観点から行われます。

- |       |  |
|-------|--|
| 1)学際性 | ・参画する学部・学科・コース等の特性が、それぞれ生かされているか<br>・研究内容は、いずれかの学部・学科・コース等に著しく偏ることがないか |
| 2)組織性 | ・特定の学生に偏ることなく、複数の学生の参画が可能か<br>・地域社会や企業・団体との連携を具体的に展開できる可能性があるか         |

3)有効性	・これまでの学内教育にない、新たな特徴が認められるか ・学習効果は、何らかの評価手法により確認できるか ・プロジェクトで得られた成果は、広く内外に向けて発信できるか
4)発展性	・学内の新たな教育課程の編成等に向けた可能性があるか ・プロジェクトで得られた成果は、他の授業科目や教育課程に取り入れられるか
5)その他	・実施計画には無理がないか

## 6. 著作権について

- 1)他者の著作権を侵害しないように実施してください。
- 2)支援を受けて制作された映画等の著作物については、原則として大学が著作権を有することとなります。
- 3)その他の著作物の著作権の帰属については、制作後、協議・確認することとします。

## 7. 成果報告

Co-G.E.I.チャレンジによりみなさんが行った研究成果を、学内外にきちんと示していくため、研究成果を印刷物やwebサイトなどで公表する際には、かならず以下の謝辞(アミカケ部分の文言)を記載してください。

本研究は「学生による Co-G.E.I.チャレンジ 2023」の助成を受けたものです。

## 8. 2022年度採択された申請活動について(申請件数 5 件)(参考)

活動名	
1	Unreal エンジンを使った VR キャンパスの制作
2	ドローンの操縦ならびに撮影技術の習得とそれらを用いた3D プロジェクションマッピング
3	初心者のためのロボット技術学習用遠隔教材の開発
4	アフターコロナを見据えた握手やハイタッチによる“つながる”コミュニケーションの拡張・再構築ーテクノロジーと表現・芸術の融合を目指してー
5	深層学習を用いた手話認識システムの構築

## 9. 応募と活動実施に関する Q&A(過去質問の抜粋)

Q1. 他大学の学生等の学外の者を共同研究者とすることは可能ですか？

A1. 認められません。共同研究者は本学大学院生・学部生のみです。

学外者は謝金等の金銭の発生が伴わない研究協力者に留めてください。

Q2. 研究を行うために必要なパソコン購入や通信費の支出は研究経費として認められますか？

A2. 認められません。パソコン等のOA機器は、研究を行う上で必要な場合もありますが、研究そのものではないので認められません。パソコン等は各自で用意してください。通信費も、当該研究のみに使用したかどうかを判断することが難しいので、認められません。

Q3. 研究のため、一人で外出します。新型コロナウイルス感染予防のため、マスク、除菌シート・ジェル類、使い捨て手袋等の購入は経費として認められますか？

A3. 認められません。研究に直接寄与しない予防グッズ等は各自で用意してください。

Q4. 研究に必要な映像ソフトを参加者全員分購入しても良いですか？

A4. 全員分の購入は認められません。

参加者の役割によっては複数の購入を認める場合があります。予め、申請書に参加者の役割や理由を明記するとともに、活動経費欄に同一物品の複数購入の旨と個数を記載しておいてください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、Co-G.E.I.チャレンジに限らず大学の教育研究活動のあり方や日程が変更される場合があります。

困ったことや不明なことは、各自で判断せず、その都度担当窓口にご相談して、判断を仰いでください。

以上